

SMILE

埼玉よりい病院 広報誌

2018 年
1 月
第 18 号

CONTENTS

新年のご挨拶
シリーズ 部署紹介
シリーズ 委員会紹介
リハビリコラム



長瀬町 宝登山
撮影：三島 賢

病院理念

病める人を第一に考える病院であり続ける

基本方針

- ・ 患者様が納得し、満足する医療を提供する
- ・ 質の高い医療を目指して、全職員が日々研鑽に励む
- ・ 心の通う医療連携を通じて、地域社会に貢献する



新年のご挨拶



埼玉よりい病院 院長 里見 昭

新年あけましておめでとうございます。

皆様お揃いで良いお正月をお迎えのことと存じます。

日頃から埼玉よりい病院をご利用いただきありがとうございます。私も当院へ参りまして2年が経過致します。病院の理念である「病める人を第一に考える」を念頭に、地域の皆様に信頼、支持されるには何をすべきかを、日々、全職員と共に考えてまいりました。そこで出た結論は、まず人を活かす「組織の意識改革」と、職員が一体となり、同じ方向に向かい、良質な医療を提供できる「組織の構造改革」が大切だということに至り、力を注いでまいりました。

その結果、全職員の努力と協力で、稼働率の上昇など経営的な観点で、良い状況へ改善できました。更に、地域医療に熱意のある2名の常勤医師(心臓血管外科、脳神経外科)が加わったことで体制も強化され、①救急搬送受け入れの増加、②人間ドック受診者の増加と接遇の改善、③地域医療連携体制の充実、④売店(Yショップ)の開店などの成果を上げることができました。まだ十分といえる医療体制ではありませんが、着実に前に進んでいることを日々実感しています。

当院は平成15年5月1日に開院致しました。今年は15年の節目の年になります。これまでの歩みを総括し、病院機能を地域の必要性に沿って更に充実させ、患者様やご家族様に寄り添う病院へと進化していきます。また、今まで以上に医療安全の確保に努めてまいります。まもなく2025年の少子超高齢者、人口減社会を迎え、経済低成長の中、医療を取り巻く環境は更に厳しくなるでしょう。しかし、住民の皆様の健康なくして地域の生活も未来もありません。

地域社会と共生するために私たちは進んで行政に協力し、町興し活動等に参加していきます。

私たちの今年の課題は「働き方の改革」です。良い職場環境が満足につながり人を育てます。働く環境に魅力がなければ優秀な人材が育ちません。夢と希望を持ち、情報の共有とコミュニケーションのある、明るく、そして楽しく働ける環境を創っていきます。

今年1年が皆様そして病院にとってもよい年になりますよう祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

3 階 療養病棟

文責 田中美紀

療養病棟とは？

急性期医療の治療は終了したものの、まだ継続的な医療提供の必要度が高く、ご自宅での療養には不安が残る患者様に安心して療養していただける入院環境を備えた病棟です。

このような慢性期の患者様に対し、ひとり一人の症状・状況に合わせた医療・看護・介護ケアを提供いたします。患者様が1日でも早く元の生活環境に戻れるよう、また、他施設への退院調整・支援もお手伝いします。

1 日のスケジュール

6:00

起床・モーニングケア

洗面等を行います。

（ベッドで過ごされている患者様には
温かいタオルをお配りします。）

7:00～7:30

ラジオ体操・朝食

9:00

検温

清潔ケア（入浴）

リハビリ

1 回約 20 分（医師の指示のもと、
患者さんの状態によって行います。）

11:30～12:00

嚥下体操・昼食

14:00

リハビリ

【月～金】病棟レクリエーション

【月末 水曜日】お誕生日会

生活の楽しみだけでなく、リハビリとなるような
レクリエーションをリハビリスタッフと看護補助者で
実施しています。

17:30～18:00

嚥下体操・夕食

21:00

消灯・就寝

面会時間 13:00～20:00



四季折々の制作

食堂から
初日の出をみました！

鬼のお面作り！

医療安全は患者様と職員の安全を守るため、病院が取り組むべき最優先課題であると考えます。

当院は、患者様に安全で質の高い医療が提供できるよう日々努めております。

医療安全対策委員会は、医師や看護師だけでなく、薬剤師、放射線技師、検査技師、栄養士、理学療法士、事務職員など各部署から選出された委員で構成されています。

また、下部組織として、医療安全を現場で担うRMT（リスクマネジメントチーム）を配置し、共に医療安全活動に取り組んでおります



リスクマネジメントチームによる見回り



インシデントレポートの作成

委員会では、医療事故防止対策を進めるため、医療現場で“ヒヤリ”としたこと、“ハット”したことの事例（これらをインシデントと言います）を集めて分析し、対策を検討して、業務手順の見直しやシステムの改善を行い、各職員への周知徹底を図り、医療事故防止に努めています。

その他、定期的に全職員を対象とした医療安全研修・事故防止取り組み報告会を開催し、職員の知識の向上及び医療安全に対する意識の向上などの啓発活動にも取り組んでいます。

これらの活動を通じて、今後も患者様により安全な医療が提供できますよう、医療安全に取り組んで参ります。

勉強会の様子



医療安全・事故防止
取り組み報告会の様子



～リハビリテーションコラム～

埼玉よりい病院 リハビリテーション科 田村俊樹



第15回 ～装具について～

装具って？

装具は事故や病気などで四肢・体幹に機能障害（痛み・筋力低下・麻痺・運動制限など）を負った場合においてそれらの障害を軽減する目的として使用する補助器具の事をいいます。

装具には体幹・上肢・下肢と付けられる種類が幅広くあります。また装着する事によって、装着部位の固定力・補助力を高め、現れている症状を抑制し、動作を行いやすくします。

体幹装具



【体幹装具の役割】

脊椎（背骨）を固定し、腹圧をかける事で、脊椎の位置を調整し痛みの軽減やバランス機能の向上につなげます。

【適応疾患】

頸部・胸部・腰部の疾患
（例：脊椎圧迫骨折、急性・慢性腰痛症）

上肢装具



【上肢装具の役割】

肩関節・肘関節・手首・指の固定・補助を行い、疼痛の抑制や活動性を高めることを目的にしています。

【適応疾患】

肩関節、肘関節、手関節の疾患
（例：肩関節脱臼、片麻痺による機能障害、関節リウマチ）

下肢装具



【下肢装具の役割】

股関節・膝関節・足関節の固定・補助を行い、疼痛の抑制や運動能力を高めることを目的にしています。

【適応疾患】

股関節、膝関節、足関節の疾患
（例：変形性膝関節症、片麻痺による機能障害）



注意点

装具の力で固定しているのであって、本来使用するはずの関節や筋力をあまり使っていないという事です。装着する事で動きやすくなるのは良い事です。しかし一日中装具を装着していると、その部位の力が弱くなってしまいう傾向があります。仕事や運動時等困っている時に使用し、普段のリラックス時や自主トレーニングで体力・筋力をつける時などはなるべく装具は外すようにしてみましょう。

《購入方法》

オーダーメイド（自分専用）の装具：本人→病院へ診察→装具業者への申請→採寸→完成→支払い・納品
その他の簡易装具：ドラッグストアやディスカウントストアで購入

わからないことがありましたら、
お気軽に病院にご相談下さい。



～外来を受診される患者様へ～

診療時間のご案内

診療時間 9:00～12:00

14:00～17:00

※ 診療科によって異なる場合がございます。

休診日 土曜午後、日曜、祝祭日

※ 救急診療を希望される患者様は、必ず
お電話にてお問い合わせください。

TEL 048-579-2788 (代)

紹介状について

紹介状・健康診断の結果をお持ちの方は、受付にご提出
ください。

保険証確認のお願い

- ・ 保険証は毎月1回確認させていただきます。
月初めに診察券と一緒にご提出ください。
- ・ 保険証の内容（氏名、住所、電話番号、勤務先）の
変更、高齢受給者証の交付がある方は、来院時に
ご提出ください。

お知
らせ

ヤマザキショップが
OPENしました!



営業時間

平日 8:30～17:30

土曜 8:30～12:30

（日曜・祝日は定休日）

アクセス



車でお越しの場合

◆熊谷方面から・・・

関越自動車道 花園ICより15分

◆秩父方面から・・・

皆野寄居有料道路 末野出口より15分

◆藤岡方面から・・・

関越自動車道 本庄児玉ICより25分

電車でお越しの場合

◆東武東上線・秩父鉄道・JR八高線

寄居駅下車 タクシーで10分

埼玉よりい病院

発行：埼玉よりい病院 診療サービス委員会
広報チーム

発行日：平成30年1月1日 第1刷

〒369-1201

埼玉県大里郡寄居町用土 395 番地

TEL 048-579-2788 (代)

FAX 048-579-2789